

③ 構造計算適合性判定の申請状況 申請書第2面7欄

↓いずれかにチェック

確認内容		申請者等	受付	審査	備考
申請済み	判定終了	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	判定中				
未申請	提出予定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
申請不要		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

④ 建築物エネルギー消費性能確保計画の提出状況 申請書第2面8欄

↓いずれかにチェック

確認内容		申請者等	受付	審査	備考
提出済み	判定終了	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	判定中				
未提出	提出予定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
提出不要	性能向上認定、低炭素認定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	大臣認定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	義務対象外	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

⑤ 設計者等の資格等の確認(申請書及び建築計画概要書等)

区分	確認内容	申請者等	受付	審査	備考
代理人	・委任状(代理人による申請の場合)との整合 ・建築士事務所に所属する建築士や行政書士などの有資格者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
設計者	建築士事務所に所属する建築士であるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
工事監理者	・建築士事務所に所属する建築士であるか ・未定の場合「未定:決定次第報告」と記入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

⑥ 設計者の業務範囲の確認

区分	確認内容	申請者等	受付	審査	備考
設計者	第3面及び第4面を照合し、建物規模・構造に応じた設計者の業務範囲を確認する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

敷地内の既存建築物の状況についての確認

建築物の確認申請においては、下記の2項目についてチェック欄 にチェック(レ)してください。

- 敷地内に既存建築物は無い OK
- 直近の検査済証交付時の内容と相違ない OK ⇒ 検査済番号・交付日を配置図等に記載済み
- 直近の検査済証交付時の内容と異なる(検査済証が無い場合も含む)
 - 土木事務所等と協議済み 法12条5項報告提出済み

敷地内の既存建築物について

- 現行法適合である
 - 増築後も現行法適合である OK
 - 増築後に法不適合部分が生じる ⇒ 法不適合部分の措置を記載した図書の添付が必要
- 既存不適格である
 - 現行法に適合させる ⇒ 現行法に適合するための措置を記載した図書の添付が必要
 - 緩和の基準を適用する ⇒ 既存不適格調書添付が必要
- 違反建築物である ⇒ 法12条5項報告書及び是正計画書を提出し、すでに是正工事完了済みである

なお、法第12条第5項報告書及び既存不適格調書に「検査済証のない建築物に係る指定確認検査機関等を活用した建築基準法適合状況調査のためのガイドライン」(H26.7国土交通省)に基づき指定確認検査機関が作成した報告書を添付することができます。

記入者 氏名	
<input type="checkbox"/> 建築主 <input type="checkbox"/> 代理人 <input type="checkbox"/> 設計者	

※上記について、実際と異なる内容を記載して確認申請を行った場合、罰則の対象となる場合があります。
 (例)法第99条:1年以下の懲役又は100万円以下の罰金 (第6条第1項、第7条第2項第3項違反)